

1 所長による分析（業務運営の総括）

（1）特に重点的に取り組んだ事項

① 各指標に対する取組

当所では、有効（新規）求職者数が令和3年度は減少傾向でありましたが、令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の状態に戻りつつありました。その一方で、有効（新規）求人数が増加する中、求人充足対策を最重要と考え、特に紹介件数（率）の指標の向上を目指して重点的に進めることとしました。

●「求人充足検討会議」を毎週1回定期的に開催して「担当者制対象候補求人」を毎回おおむね3件選定し、「求人担当者制」において求職者に対して求人情報を提供しました。あわせて、「未充足検討会議」を毎月2回定期的に開催し、求人者に対して求人条件緩和指導等を行いました。

●令和4年度途中までは新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「事業所訪問」ができなかったため、主に電話やFAXにより重点的に求人開拓を実施しました。令和4年10月から事業所訪問を再開し、求人開拓および事業所情報収集のほか求人者マイページや応募前職場見学などの周知を行いました。

●求職者が求人に関心を持っているものの、応募に踏み切れないでいる場合、そのハードルを下げることを目的として、「応募前職場見学」を推進しました。リーフレットに紹介成功率が高いことを明記して見学希望者を募りました。職場見学により求職者が事業所・業務・職務のイメージを持つことができるので、紹介件数の上積みに結び付けました。

●「事業所説明会」について、求人申込みの際や事業所訪問の機会を捉えて求人者に対して積極的に周知しました。令和4年度は令和3年度より実施事業所数・実施回数ともに大幅に増加しました。

●職業紹介窓口で相談する際、求職者の積極的な応募の動機付けとなるよう、窓口を設置している端末を職員等が使用し（求人検索ツールを活用し）、応募条件を絞り込んで求人を検索した上で、「求人情報提供」等に取り組みました。

●「就職意欲の低い求職者」については、早期再就職意欲を喚起するため、求職申込時、初回講習や認定日等において、早期再就職のメリットや就職活動の進め方について説明しました。さらに、支援メニューの中でも紹介成功率の向上が期待できる応募前職場見学、事業所説明会や応募書類の作成指導・添削、模擬面接等のサービスメニューについて詳細に説明しました。

●「就職意欲の高い求職者」については、求職者担当制を活用して積極的な求人情報等の提供を行い、能動的マッチングに努め、紹介件数の

アップに取り組みました。

② 中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- 職業紹介部門の若手職員を講師として職業紹介業務について研修を実施しました。
- 就職困難者支援について研修を実施しました。
- 川内労働基準監督署に講師派遣を依頼し、「労働基準法の制度理解促進研修会」を実施しました。
- 職員等が職業相談技法を習得すること及び紹介マッチングのスキル向上を図ることを目的として、求職者が抱える課題とそれに対する助言・対応方針を職員同士で話し合う等のケース研究「職業相談事例検討会」を実施しました。

(2) サービス改善・業務改善を図った事項

- 令和2年4月以降新型コロナウイルス感染症の影響を受けて「雇用保険説明会・初回講習」を開催していませんでした。令和3年度は令和3年11月18日から「受給者向け求職活動講習会」と称し、雇用保険に関する説明部分を大幅に省略して初回講習を開催しました。令和4年度は年度当初中断し、令和4年7月14日から「雇用保険説明会・初回講習」を再開しました。新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえて1時間以内で収まるよう内容を工夫して実施しました。雇用保険受給者の早期再就職件数を向上させることを目的として、早期再就職のメリットに加えてハローワークのサービスメニューについて重点的に案内を行いました。
- 「求人情報誌」について、令和4年5月から表紙にハローワークインターネットサービスのリンクQRコードを掲載しました。また、求職者特に若者についてハローワーク利用の取り込みを念頭に置いて、令和4年11月から配架場所を増設しました。(出水市内図書館3か所)
- 「応募前職場見学」の見学可能な事業所について、求人票上の表示のほか、「応募前職場見学可能事業所リスト」を作成した上で、庁舎内掲示板に掲示したり労働局HPに掲載しました。職場見学の参加者にアンケートを実施し、「職場見学が参考になった」等の感想・意見についてリーフレットを作成して庁舎内掲示板に掲示しました。
- 「事業所説明会」について、求職者の参加者数が低調であったので、通常新規求人の掲示を行っていた庁舎外掲示板の一角を使用して1か月先までの開催予定案内を掲示しました。そのほか、求人情報誌への掲載、相談窓口への掲示、求職者へのDM等の取組を行い、初回講習や初回認定日の機会をとらえて周知に努めました。その結果、参加者数は増加し、紹介・採用に結び付きました。
- 就職氷河期世代向けの情報発信について、庁舎内掲示板に就職氷河期世代支援コーナーを設けました。求職者に対して就職氷河期世代限定・歓迎求人及び職業訓練の情報を、求人者に対して各種助成金などの情報をそれぞれ提供・掲示し、利用者が情報収集しやすいようにしました。求職者自身が当該対象者であることを受付や窓口で申出することの端緒となることを想定して取組みました。
- 職業訓練の各種情報がロビーに散在していたのを整理しました。ロビーに職業訓練の概要のリーフレットを掲示しました。相談待合に職業

訓練の各種情報のコーナーを設けて、募集チラシ・受講者の声・給付金案内等を掲示・配架しました。来所者用求人検索パソコンのトップ画面に募集チラシをアップして周知を図り、相談の端緒としました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

●求人者マイページについては、登録手順案内リーフを作成し、求人窓口において求人申込みの際など積極的に周知を行いました。その結果、令和4年度において事業所（令和5年3月末日現在321事業所）から求人者マイページ開設申込みがありました。また、マイページからの求人申込みについて、令和4年2月更新の求人から求人更新時のマイページを利用した求人申込みの手順リーフを作成して利用案内を行いました。さらに、令和4年11月からFAX利用廃止とともにマイページ登録・利用の促進について周知を強化したところ、利用件数が大幅に増加しました。令和5年度においても更に利用件数を増やしていくよう取り組むこととしています。

●令和4年3月、ハローワークインターネットサービスの拡充により、求職者が自宅のパソコン、スマホで簡単に求人検索、応募ができるようになったため、求職者マイページの周知案内を積極的に勧めていきます。また、一方で、ハローワークへ来所される求職者は、何らかの課題を持っている可能性が高いことから、窓口相談において、今までよりも的確に求職者の問題を把握し、課題解決に向けた支援サービスに取り組んでいきます。

2 総合評価 (※)

標準的な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

3 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	満足度 (求人者)	満足度 (求職者)	ハローワークの職 業紹介により、正 社員に結び付いた 就職氷河期世代の 不安定就労・無業 者の件数	公的職業訓練終了 3か月後の就職件 数		
令和4年度実績	1,957	1,745	437	77.6%	93.9%	121	34		
令和4年度目標	1,972	1,756	388	90.0%	90.0%	157	35		
目標達成率	99%	99%	112%			77%	97%		

※ 就職件数は「(従来の) 紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の) 紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率